

令和7年5月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和7年5月分について、輸出額は「自動車の部分品」などが減少したものの、「金属加工機械」「荷役機械」「半導体等製造装置」などが増加したことから、対前年同月比0.8%の増加となった。また、輸入額は「原粗油」「石油製品」などが増加したことから、同2.8%の増加となった。その結果、差引額は5,762億円（同1.3%の減少）となった。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降168カ月（14年）連続 全国港別（空港含む）第1位。

注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

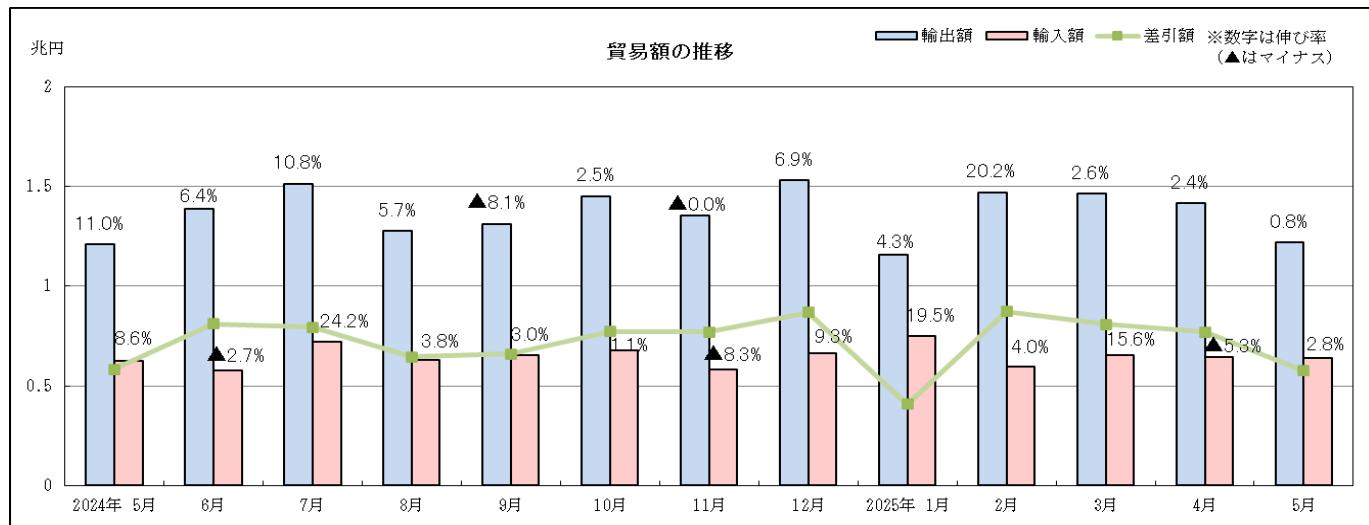
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆2,175億円	+0.8%	6,413億円	+2.8%	5,762億円	▲1.3%
	6カ月連続の増加			2カ月ぶりの増加		
	順位 過去 28位	5月として 1位	順位 過去 15位	5月として 1位	順位 過去 80位	5月として 2位
管内（名港シェア）	1兆8,449億円 (66.0%)		1兆1,561億円 (55.5%)		6,888億円 (—)	
全国（名港シェア）	8兆1,350億円 (15.0%)		8兆7,726億円 (7.3%)		▲6,376億円 (—)	

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出	(1) 金属加工機械	384億円	+19.9%	+0.5	6カ月連続の増加
	(2) 荷役機械	151億円	+42.7%	+0.4	4カ月連続の増加
	(3) 半導体等製造装置	323億円	+14.2%	+0.3	14カ月連続の増加
輸入	(1) 自動車の部分品	1,447億円	▲10.6%	▲1.4	3カ月連続の減少
	(1) 原粗油	645億円	+23.2%	+1.9	2カ月ぶりの増加
増加	(2) 石油製品	140億円	+56.0%	+0.8	2カ月連続の増加



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。